

インターバンクの声（2015 年 11 月 30 日）

サンクスギビング・デー（感謝祭）と週末に挟まれた 27 日（金）は、正式な休日ではないが、サンクスギビング・デーの売れ残り処理を進める日と米国で一年間で最も買い物が進むクリスマス商戦初日が重なるブラック・フライデーと呼ばれる大事な日だ。毎年、日本のメディアもこの米国のブラック・フライデーの様子を報じながら、年末クリスマス商戦の行方を占っているが、この週末はこうした報道を見逃してしまった。「12 月の米利上げの雲行きが怪しくなってきた」などとは伝わってきていないので、多分そこそこ好調なスタートとなったのだろう。金融市場は欧州中央銀行（ECB）への緩和期待や米雇用統計の発表が控えていることもあって、債券・株式市場に特段の変化はなかったが、為替市場ではドルの堅調さが目立った。金曜日のアジア時間後半に中国株が大きく下げて来ていたので、欧米市場への影響が心配だったが、もはや中国市場は世界基準とは違う物差しで市場が動いているとの評価が定着し始めているのか、今のところ以前のような混乱はない。週明けのアジア市場、特に東京市場も ECB 理事会や米雇用統計を睨んで静かな値動きとなるのか、それとも中国株の下落に影響されるのか注意深く見守りたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。